

令和元年6月分（3件）

【カーブミラーが突然無くなった件】

内容	1. カーブミラーの場所・状況 宮城の頼忠寺方面から出てきて、県道 257 号線にぶつかった所の左側のカーブミラーが突然無くなっていた。 2. 問合せの経過・状況 (1) 5月29日（水）夕方、電話でカーブミラーが無い旨伝えて、どうしてないのか確認したところ、何も変更していないとの回答で、明日（5月30日）に現場を確認するとのことでした。 (2) 5月31日（金）17:30 頃に電話したところ、 (イ) 事故があって、電柱から修復しているので、電柱は立ったが、カーブミラーは、まだ付いていないとのこと。 (ロ) 保険で修理することになっているので、保険会社が見に来て、その後業者が見に来るので時間が掛かるとのこと。 (ハ) いつ頃までにカーブミラーが付くのか確認したところ、すぐに回答出来ず無言の状況、何度もいつ頃になるのか聞くと苦しまぎれに来週となるべく早い時期にと言い、早い時期とはいつのことなのか聞くと、来週の水曜日（6月5日）と回答。保険会社が修理するので、とにかく時間が掛かること理解して欲しい旨の一点張り。 (3) いくら会話しても話が合わないので、課長を出して欲しいと要求すると、帰ったとのこと、携帯に連絡して、電話を貰えないかと要求しても、それは出来ないとの回答で、失礼な電話対応でした。 3. 要望事項 (1) 交通安全のためのカーブミラーなので、素早い対応をお願いする。電柱が修復されたのに、ミラーの取り付けがなぜ遅くなるのか。保険会社と調整すれば簡単に済むことでは？ (2) 最初に電話した時に、なぜ状況が把握されていないのか？ 係内の情報共有をしっかりと欲しい。 (3) カーブミラーを修復中なら、修復中の旨と修復予定時期を表示するぐらいの配慮が欲しい。（市民目線が不足している） 【R1.6.3 受理】
回答	普段ご利用されているカーブミラーが、事故によりご利用できない期間があり、ご不便をお掛けしました。 ご連絡を受け、現地を確認、状況を調査し、事故者、保険会社及び工事業者と調整した結果、6月3日（月）の午前中にカーブミラーを復旧することができました。ありがとうございました。 市では、道路管理者として、見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置しております。設置したカーブミラーについては、設置後の管理も市で行うことになります。 強風でカーブミラーが倒れてしまったり、向きが変わって見えにくくなってしまったりした場合、そのカーブミラーを使用している地域住民のみなさまからの連絡が、状況把握の第一歩となります。 交通事故の場合は、通常であれば、事故を起こした方やその保険会社から、カーブミラーの管理者である市に連絡があり、状況を把握することになります。そして、市の予算を使って修復するのではなく、原因者となった方の責任のもと、現状復旧していただくこととなります。 しかし、今回の宮城のカーブミラーにつきましては、原因者の方からの連絡が遅れ、ご連絡をいただき現地を確認して初めて、その状況が把握できました。 調査をした結果、5月27日（月）午後5時40分頃の交通事故により、カーブミラーを設置していたNTT柱が傾いたことにより、NTT柱が修復（交換）され、もとも

	とのNTT柱に設置されていたカーブミラーが外されていたことが判明しました。その後、警察を通じて事故者へ連絡を取り、保険会社から工事業者へと連絡が行き、この度の復旧となりました。 カーブミラーは交通安全のための施設ですので、今回に限らず、できる限り早く復旧するように心がけて対応しております。その復旧に相当の期間を要すようであれば、修復予定時期の表示等につきましても、交通安全を観点に検討して参りたいと考えております。 みなさまからの第一報が、復旧の第一歩となります。今後とも、ご協力・ご理解くださいますようお願いいたします。 【R1.6.4 回答】
--	---

【無題】

内容	1. 何かおかしい？大雨での浸水地での浸水の減少対策は西日本豪雨での教訓に、雨水の初期の一気に側溝に出無い側溝に溢れることに軽減に貢献できないか。 雨水の一時溜めて、一部を地下に戻す。 市内各地の、大雨の排水路の浸水の減少に寄与出来ないか。 新規に建築を建てる住宅及び工場や建造物を建てる時に、自前の排水溝に溜枡の側溝に加工し底をコンクリートにしないで底から下に雨水を浸透させる。 多い雨水は側溝を通し溝に流す。今館山市は大雨が降ると各地で、溝が溢れる。排水が小川や川が溢れる。各地の土地が宅地化や埋め立てにより、以前は、地中に雨水が浸透していた物が、土地の地上げ、舗装により、地中に雨水が浸透しないで、一気にU字溝を通し側溝に溢れ道路に住宅に溢れる。大雨のたびに浸水している店舗、住宅、歩行者は大変困っている。 館山市の雨水の現状は、敷地や庭をアスファルト、舗装化し、雨水の降水の96%は溝に流れ込んでいる。改善として一時貯水し溜枡より溢れた雨水は、側溝に流す。 対象は、新規の住宅の舗装地、大規模な駐車場の舗装地、工場や店舗の舗装、など、200㎡に1か所×面積 1か所は容量既製品で40L程 除外は傾斜地、河川や海岸の近い所等、過剰な雨水の浸透しやすい土地。 いままでの、敷地の舗装、アスファルト、コンクリートの舗装地は、地主の努力義務で、出来れば、溜枡の浸透式に修正してもらおう。いずれも工事費は、地主使用者負担。 今使用中の住宅、店舗等のコンクリート、アスファルトの舗装も推奨で浸透式にしてもらおう。 今降った雨水は、悪ですべて側溝を通して川、海に流す。 多くの世帯、水を浸水しない土地が雨水を少しでも、地下に浸水式にすれば、大雨や集中豪雨で舗装に降った雨を、一気に流すのでは無く、少しの時間差や、減災、防災に役立ち、より多くの市民が協力してくれば、大きな成果が期待できます。 結果として浸水住宅が減少し、排水のための公共事業も減り、館山市民に喜ばれ多くの成果が期待できます。 又、雨水の有効利用として、用水桶で雨水溜め、庭の水まきや、汚れ物洗浄の使用者などの水の有効利用。古来より雨水は大地に戻す。 以上館山市条例として新規に建設の住宅店舗、工場、舗装する駐車場の溜枡化を定めてはどうでしょうか。 2. 魔の交差点の防止 館山市の鶴ヶ谷地区にセブンイレブンのコンビニが近じか出来ようとしている。 利便性のいい生活において便利な施設と雇用は大変に良いと思います。 しかしながら今建設中の隣接している館山駅に通じる交差点は自動車の通行と小学、中学校、高校の通学路となり、歩行者に自転車と狭い道路と今でも混雑し、運転に気を
----	--

	付けていますが、危険な交差点、道路です。 現状で、車で諏訪神社方面から安房高の東門に通じる交差点は左折、右折しようとする左側に住宅の塀、右側に旧店舗が有り非常に見通しが悪く、車の前70センチ程交差点に出なければ左右が確認出来ない。向かい側にカーブミラーが有るが、車と、人、自転車の安全確認が見にくい。 こんな状態の交差点にコンビニが出来ると、コンビニに出入る車や歩行者、自転車、出入口に集中する。車の出入りにスピードを出したまま出入りする。 この危険な交差点に隣接する、コンビニに敷地内での安全対策を、館山市として、強く指導していただきたい。 先般の滋賀県大津市の2台の交通事故の2次事故による保育園児童の巻き込まれる死亡事故。通学路になっているので事故の未然防止を指導してほしい、それが市民、安全安心で命を守り、快適な生活するための行政の仕事です。 具体的には、交差点より出入り口は遠くに作る。道路に面し隣接ごとに1か所にする。一般に、コンビニの出入り口は車の出入りやすいように2か所作っている。 敷地内に歩道を作り、道路の境界線より1m内側に作る。歩道の外側に面している所に、パイプ式のガードレールを作る。その他安全施設つける。 交差点の舗装の表面に車のスピードを落とすモザイク模様のペイントをする。 スピード制限を30キロにする。その他スピードを落とす安全施設を施す。 館山市の少子化の対策と大切な財産でもある園児、児童、生徒自転車やヤングママの生命を守る。 出来ればコンビニの敷地内の雨水は、複数の浸透式の溜枳にし、雨水の出たものは、敷地内で処理し、あふれた雨水は側溝に流す。コンビニの施設の工事は受益者負担にする。 【R1.6.7 受理】
回答	1. 宅地等への雨水浸透施設の設置について 宅地等への雨水浸透施設の設置は、道路冠水や排水路の溢水への対策として有効な方法の一つと考えられます。 館山市では、1,000㎡以上の開発行為につきまして、「宅地等開発事業に関する指導要綱」に基づき、雨水排水についても指導を行っており、特に、現状において道路冠水等が想定される区域においては、雨水浸透施設や雨水貯留施設の設置を求めるなど、敷地外への雨水流出対策に努めています。 また、10,000㎡以上の開発行為におきましては、県の基準により雨水貯留施設等の設置が必要とされています。 個別の新築等の際の雨水浸透施設設置の義務化につきましては、個人費用の負担や土地利用の制限にもなることから、現時点では考えておりません。 2. コンビニエンスストア建設にかかる安全対策について ご指摘の交差点は、市街地で学校も近いということもあり、児童生徒の通学路となっており、人通り、車通りも非常に多い交差点であることを認識しております。 したがって、本交差点の安全対策につきましては、今後の状況もふまえ関係者と協力して対応してまいります。 【R1.6.14 回答】

【沖ノ島カーナビ問題】

内容	カーナビで沖ノ島を設定すると大賀自衛隊官舎になるようです。 宮城の交差点を越えてしまってから設定すると、私の車もその案内になりました。
----	---

	毎年ですが、多くの車が官舎に迷いこんできます。 特に、夏の季節はすごいです。私は1年で5回程、沖ノ島の道のりを官舎前で聞かれました。迷いこんでくる事は仕方ないですが、どの車も官舎前に子供が遊んでいるのは知らないで、すごいスピードで駆け抜けて行きます。いつ事故があっても、おかしくありません。 沖ノ島の案内をもっと掲示していただきたく強く願います。 【R1. 6. 10 受理】
回答	沖ノ島を案内するカーナビについては、一部の製品において正しい場所を案内しない場合があることは承知しており、メーカーにも修正の依頼をしているところです。 また、案内標識の設置や、夏期には誘導看板などを設置するほか、市のホームページにも正しい道順の案内を掲載していますが、問題の解消には至っていない状況です。 そのため、今年の海水浴場開設期間には、宮城交差点などに沖ノ島を案内する看板を設置し、適切な誘導をしていきたいと考えています。 【R1. 6. 13 回答】